

今年の冬、雪山歩きが足りない！ということで、GWの泊り山行に、自分の実力で歩け、なるべく雪が残っている北アルプス、中房温泉から大天井岳、常念岳、蝶ヶ岳、そして上高地へ下山する縦走コースを選びました。

～1日目～

穂高駅の駐車場、登山バスは共にあまり混雑もなくスムーズに中房温泉着。燕山荘までの登りも荷物が重いものの何とか予定通りクリア。燕山荘から稜線歩きに入る。蛙岩は雪が少ないので夏道を行けるかと期待したが、やはり雪が残っており、岩の穴をくぐることに。テント泊装備を持っての穴くぐりはとてもきつかった。(写真1)この辺りから疲労で頻繁に休憩を取らないと歩けなくなる・・・その後いくつかのピークの上下を繰り返す、最後に大天井岳の直登。夏場は巻道を行けるが雪があると危険につき通行止め。ガレ場と雪道を繰り返す、一部クライミング状に岩をクリアし、何とか山頂に到着した。山頂からは360度の大展望。(写真2)大天荘のテント場はすぐそこだ。最後の力を振り絞ってテント場まで歩く。

写真1 蛙岩



写真2 大天井岳山頂にて



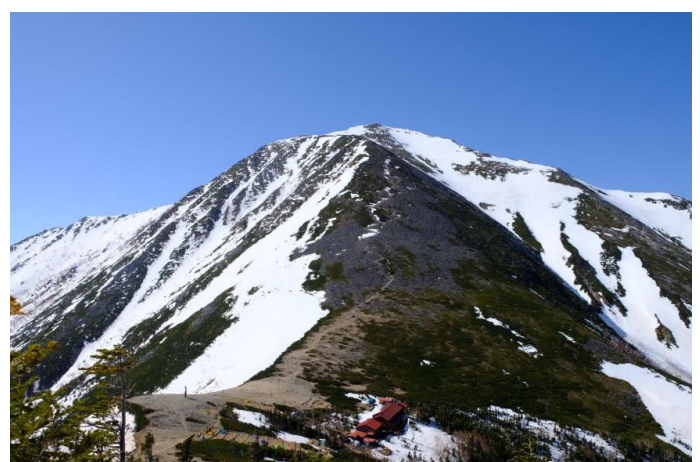
槍ヶ岳～穂高岳が見える絶好の場所にテントを張る。

大天荘の周りを探すが、トイレが見当たらない。どうやら雪の下に埋もれている模様。これにはちょっと困った。夜もいい天気風はなく寒くもなく快適に眠る。(写真3)

写真3 テントと穂高とさそり座



写真4 常念小屋と常念岳



～2日目～

大天荘～蝶ヶ岳ヒュッテまでの縦走だ。大天荘にトイレがなかったので、我慢しながら常念小屋を目指す。横通岳をトラバースすると常念岳が眼前に広がる。小屋はもう少し。助かった～。つらい常念岳の登りを何とかクリアし、稜線のアップダウンを繰り返す。大天井岳～蝶ヶ岳の稜線は多くの雷鳥が多く住んでいるようで、何度も遭遇した。

写真は蝶ヶ槍直下の雪上の雷鳥。(写真5) 初日より体力を残して蝶ヶ岳ヒュッテのテント場を確保。設営後、槍ヶ岳から穂高岳を正面にビールで乾杯。これが最高の瞬間。

写真5 雪の上の雷鳥



写真6 槍穂の稜線に沈む冬の星たち



～3日目～

朝早く、日の出前に安曇野方面を見ると、水が入った田んぼに朝焼けが映り美しい。

長堀尾根は雪が適度についており、アイゼンで快適に下る。徳澤園に着くとそこは人だらけ。観光客、登山者、クライマー、キャンプの人・・・GWなのだと実感する。

上高地のバスターミナルからバスで新島々。新島々から上高地線電車で松本。そして大糸線で穂高駅まで車の回収のため戻る。バスの待ち時間や電車乗り換えミスで、この回収作業にかなり時間がかかった。

3日間快晴のGW パノラマ銀座稜線歩き。とても疲れたが最高の登山でした。

写真7 安曇野の朝焼け



【コースタイム】

～1日目～

06:30 中房温泉

09:20 合戦小屋

10:50 燕山荘

11:50 蛙岩

15:50 大天井岳

16:15 大天荘

～2日目～

05:45 大天荘

08:17 常念小屋

10:00 常念岳

13:50 蝶ヶ槍

14:40 蝶ヶ岳ヒュッテ

～3日目～

05:45 蝶ヶ岳ヒュッテ

06:30 長堀山

08:30 徳澤園

10:48 上高地バスターミナル